

## 研究協力のお願について

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

### 1. 研究の対象

急性A型大動脈解離手術におけるHydrofitを用いた弓部分枝吻合部補強法

### 2. 研究の目的について

急性大動脈解離Stanford A型では弓部分枝にも解離が及ぶことがあります。解離した弓部分枝は非常に脆弱で、手術操作で容易に破綻し、血管吻合が困難となり、制御困難な出血の原因の一つとなります。そこで、我々は、水と反応するウレタン素材の止血剤で、血管縫合部の止血・補強に対して一般的に使用されているHydrofitに着目し、解離した弓部分枝の吻合部補強に利用しています。この研究では、解離が及んだ弓部分枝に対するHydrofitの有効性について後方視的に検討し、学術集会・学術論文で報告します。

### 3. 研究の方法について

2021年11月から2022年8月までに、急性大動脈解離Stanford A型に対する弓部置換術例で、弓部分枝に解離が及んだ症例を対象とします。その際の画像所見、術中所見、術後合併症の結果などを電子カルテのデータから情報収集します

### 4. 研究期間

研究承認日から2024年12月31日まで

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、術中所見、治療経過、カルテ番号

### 6. 外部への試料・情報の提供・公表

General Thoracic and Cardiovascular Surgeryに投稿予定です。また、中間報告として、第51回日本血管外科学会学術総会に発表予定です。

### 7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

